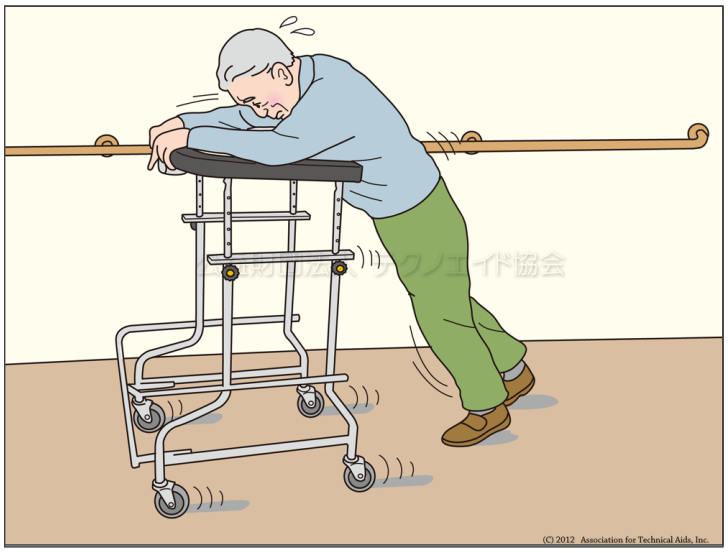
Case：68

馬蹄形の歩行車の進行に利用者の足がついて行けず、前方へ転倒しそうになる

場面の説明

歩行車に過度に寄りかかりながら歩行しているうちに、歩行車が進む速度に足がついていけなくなった



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

馬蹄形の歩行車は、両肘で身体を支え立位がとれる人の歩行を補助する用具です。両肘で支えても立位の安定しない人が過度に寄りかかり、前方に倒れかかると歩行車のみが前方に進み、この事例のような危険が発生してしまいます。利用者の立位・歩行能力をしっかりと見極めて使用することが重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：利用者の立位・歩行能力と歩行車が適合していなかった
環境：利用者の歩行や立位の能力を判断し、適切な移動手段をアドバイスしてくれる専門家が周囲にいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.